

令和7年度 第2回 清瀬市男女共同参画センター運営委員会 議事録

日 時：令和8年1月26日(月) 午後2時～4時

会 場：男女共同参画センター会議室1・2

出席委員：7名

齊藤委員長、大森副委員長、宮沢委員、井澤委員、池田委員、渡辺委員、戸野委員

欠席委員：4名

中村委員、橋本委員、松本（宏）委員、松本（な）委員

事務局：原口課長補佐、小林専門員、満永

1（1）令和7年下半期事業報告について事務局より説明

○委員からの質問

◆保育室について、消費生活センター利用団体から活動時に利用したいという声がある。利用は可能か。

→現状は男女共同参画センターが優先で使用しているが間口を広げるような検討をしていきたい。市民協働プラザとして生涯学習センター利用団体を含め全体で考えるべきだと考える。

○委員からの質問

◆パープルキャンドルでは明治薬科大学の体験学習として学生が協力したということだが他の大学等、例えば社会事業大学や看護大学とはできないのか？

→明治薬科大学は体験学習のメニューとして取り入れている。他の大学にも声は掛けているが現状は行ってない。

○委員からの意見

◆中学の学校支援本部では職場体験で男女共同参画センターを予定している。秋くらいに行いたいと考えているので協力いただきたい。

○委員からの質問

◆委託事業について寄り添い型についてどのような講座があるのか

→働きつづけるためのキャリア&ライフプラン講座を年8回行っている。

◆参加人数はどのくらいか。

→10名ほどの定員に対して5人以上の参加で推移している。講座の中にはインフルエンザが流行った時に欠席が多いことがあった。

◆チャレンジ相談、マザーズハローワークについて

→最終目標は参加者の就職であり就労に特化したものとして実施している。国の交付金を活用した事業であるが、昨年度中に3名が就職し、この数字は国も大変評価している。

◆生理用品配布について

→生理用品はセンターの他、子ども家庭支援センター、元町子ども図書館等必要とする方の

訪問が多い施設に置いてあり、必要としている方には全て渡している。相談カードを同封しており、相談に繋がったケースもあった。

○委員からの質問

◆講座等に参加する年代について

→幅広い年齢層だが、基本的に若い方、子育て世代が多い。

○委員からの意見

◆就業人数の統計では清瀬市は低い、このような支援で就業人数を上げて行ければ、アイレックの活動も貢献していると言える。

→マザーズハローワークは渋谷、立川にあり渋谷のマザーハローワーク所長が清瀬市に住んでいるなどのご縁で出張マザーズハローワークが出来るようになった。デジタル人材事業や寄り添い事業などと合わせ就業率に貢献していきたい。

○委員からの質問

◆ことりば利用者数について

→コロナ禍の際にはリモートワークが多く利用者も多かったが、リモートワークが少なくなり減少傾向。また、ことりばは女性の利用者が3割を超えており、特に週末の利用が多い。休日は夫に子どもを託し、ことりばを利用している方もいる。

1 (2) 令和8年度事業計画(案)について事務局より説明

○委員からの意見

◆キョセ de フェスタやアイレックまつりなどは男女共同参画センターを周知するにはとてもいいと思う。ことりばもイベントがなければわからなかった。何回か増やして欲しい。

1 (3) アイレック30周年記念事業について事務局より説明

○委員からの質問

◆アイスランド大使を呼ぶのはなぜ？

→世界経済フォーラムでジェンダーギャップ指数が16年連続1位を維持するジェンダー平等先進国であるため。

○委員からの意見

◆国際女性デーのシンボルである花ミモザの高騰がありなかなか手に入らない。

◆ミモザは植えれば生命力強いので清瀬市の公園で植えれば国際女性デーなどで使えるのでは。

◆小学生のポスターをアイレックまつりで掲示した時に親も一緒に見に来た。周知するいいきっかけになるので継続してはどうか

→センター30周年企画のひとつとして実施した。来年度の予定は無いが、35、40周年といった節目の年に実施できればと思う。また、夏休み期間は小学生を対象に様々な団体から絵、作文、工作など多くの作品の募集があり、今回は清瀬小学校が宿題としていただき100作品を超える応募があったが、子どもたちにとってはかなり大変な作業となっている

と聞く。

1 (4) 女性活躍推進事業について事務局より説明

○委員からの意見

◆ことりばなど委託業者に任せている場合、市に話しても委託業者にお願いしているのでと言われる。意見を話す場を設けて欲しい。

→委託事業は市の事業であり、丸投げではない。ご意見を伺いその施策に生かすことは可能であるが、運営委員会はその内容を決定する場でないことはご理解いただきたい。

◆ことりばのスペースについて、ワーキングスペースなどもあった方がいい。

→無人のスペース販売やチャレンジショップ、ワーキングスペースなども検討している。

◆名前がころころ変わるので名前はあまり変えないで欲しい。

2 その他

○委員からの質問

◆サポーター＋会議は行うのか。

→年度内に一度行いたい。

◆令和7年度運営委員会は今回で最後か

→今年度は30周年企画の計画、報告などの議題もあり例年より多く開催する予定であったが、このタイミングでの開催になったことから30周年関係と8年度計画まで議題とすることができた。緊急で議論が必要となる場合は任期が3月31日までなので開催も可能であるが、現状予定は無い。